

第 4 期 報 告 書

〔 2019年 4 月 1 日から2020年 3 月31日まで 〕

一 般 財 団 法 人 明 治 安 田 健 康 開 発 財 団

東京都新宿区西新宿一丁目 8 番 3 号

目 次

第4期事業報告（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

I. 事業の概況	1
II. 事業別概況	2
III. 理事会に関する事項	15
IV. 評議員会に関する事項	20
V. 寄附に関する事項	22

第4期決算報告（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

I. 貸借対照表	23
II. 正味財産増減計算書	24
III. 財務諸表に対する注記	28
IV. 附属明細書	30
V. 財産目録	31
VI. 監査報告書	33

第5期事業計画（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

I. 基本方針	34
II. 実行計画	34
III. 収支予算書	36

第 4 期 事 業 報 告

2019年4月1日から2020年3月31日まで

I. 事業の概況

2017年4月1日より明治安田厚生事業団の業務を一部分離・継承する形で開始した人間ドック（健診）事業においては、広く一般の健康増進に寄与するため、健診の普及啓発を推進するとともに、明治安田厚生事業団との連携により健診データを活用した調査研究活動にも取組んだ。

収益態勢の強化や健康増進活動の一環として、協会けんぽの健診受入れ、ホームページの充実、Web予約リニューアル等の勧奨対策に加え、脳MRI・肺CT検査を本格導入したことで、総受診者は17,750人と増加、健診収入も大きく進展した。

また、人間ドック受診者への当日結果説明や保健指導の実施等、受診者ファーストの取組みを推進し、満足度調査やNPS（ネットプロモータースコア）で高指標を獲得した。

「座り過ぎ」と「活発度」を測定する「MYライフ・ドック[®]」については、明治安田生命以外にも、受診健保・団体からの協力を得て、約1,500人の対象者に実施することができた。

2019年4月1日から開始した健康増進支援業務については、明治安田生命が推進する「みんなの健活プロジェクト」における支援活動を中心に、健康増進に関する法人向け支援活動を展開した。具体的には、従業員の健診結果改善に向けたマニュアルの作成や各種セミナー開催等の支援を行った。

健康経営推進事業については、法人向け体験型セミナーを全国で開催し、参加企業との意見交換会を積極的に展開し、受講者からも一定の評価を得た。

その他、明治安田生命の健康増進型保険の普及に向けて、啓発用テキストの作成や販売教育活動支援に協力した。

Ⅱ．事業別概況

1．人間ドック（健診）事業

Ⅰ．第4期（2019年度）人間ドック（健診）事業等受診状況

1．性・健診コース別受診者数

表1は、2019年度（第4期）と2018年度（第3期）の受診者数を性・健診コース別の受診者数とその割合で示したものである。なお、各健診コースの内容は以下のとおりである。

「人間ドック」は日本人間ドック学会で定められている基本検査項目を全て満たしているコース、「生活習慣病健診」は人間ドックのコースの検査項目から腹部超音波や一部の血液項目が検査されていないコース、「定期健康診断等」は労働安全衛生規則により定められている項目ならびにそれに準ずるコース、そして、「その他の健診」は婦人科、乳腺などの単独の健診や区民健診などである。

表1. 2019年度（第4期）・2018年度（第3期）の
性・健診コース別受診者数と平均年齢

		2019年度（第4期）						2018年度（第3期）					
		男性		女性		合計		男性		女性		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
受診者数	人間ドック（総合健診）	6,223	73.8	6,051	64.9	12,274	69.1	5,967	75.2	6,034	68.1	12,001	71.4
	生活習慣病健診	899	10.7	1,390	14.9	2,289	12.9	674	8.5	1,133	12.8	1,807	10.8
	定期健康診断等	1,168	13.9	1,055	11.3	2,223	12.5	1,127	14.2	946	10.7	2,073	12.3
	その他の健診	142	1.7	822	8.8	964	5.4	169	2.1	747	8.4	916	5.5
	合 計	8,432	100	9,318	100	17,750	100	7,937	100	8,860	100	16,797	100
平均年齢（歳）	人間ドック（総合健診）	51.8		51.6		51.7		51.8		51.7		51.7	
	生活習慣病健診	47.3		48.1		47.8		47.5		48.1		47.9	
	定期健康診断等	30.1		30.3		30.2		30.6		30.9		30.7	
	その他の健診	37.6		42.5		41.8		38.6		42.5		41.8	
	合 計	48.0		47.8		47.9		48.1		48.2		48.2	

- 1）2019年度（第4期）の各健診コース合計の受診者数は17,750人で、2018年度（第3期）に比べ、男性が495人、女性が458人とともに増加し、男女合計では953人増加した。
- 2）2019年度の男女の受診割合は若干男性の割合が増加したが、前年度とほぼ同じであった。
- 3）各健診コースの受診人数は全て増加した。2017年（第2期）より受け入れを開始した協会けんぽも順調に受診者が増え、それに伴い生活習慣病健診と定期健康診断も増加した。
- 4）表1には各コースの平均年齢を示した。男女とも人間ドックのコースは50歳代前半、生活習慣病コースは40歳代後半、定期健康診断等のコースは30歳代前半であったが、人間ドックは前年度と同じ受診年齢だが、それ以外の健診コースでは、男女ともに受診年齢が前年度に比べ僅かながら下がった。

2．性・月別受診者数

表2は2019年度（第4期）と2018年度（第3期）の性・月別受診者数とその割合を示したものである。

表 2. 2019 年度（第 4 期）・2018 年度（第 3 期）の
性・月別受診者数

	2019 年度（第 4 期）						2018 年度（第 3 期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
4 月	330	3.9	341	3.7	671	3.8	317	4.0	335	3.8	652	3.9
5 月	563	6.7	567	6.1	1,130	6.4	451	5.7	481	5.4	932	5.5
6 月	868	10.3	997	10.7	1,865	10.5	761	9.6	1,003	11.3	1,764	10.5
7 月	960	11.4	827	8.9	1,787	10.1	804	10.1	748	8.4	1,552	9.2
8 月	710	8.4	952	10.2	1,662	9.4	688	8.7	883	10.0	1,571	9.4
9 月	871	10.3	972	10.4	1,843	10.4	782	9.9	933	10.5	1,715	10.2
10 月	856	10.2	1,219	13.1	2,075	11.7	893	11.3	1,142	12.9	2,035	12.1
11 月	913	10.8	1,141	12.2	2,054	11.6	920	11.6	1,032	11.6	1,952	11.6
12 月	713	8.5	814	8.7	1,527	8.6	598	7.5	682	7.7	1,280	7.6
1 月	609	7.2	573	6.1	1,182	6.7	651	8.2	539	6.1	1,190	7.1
2 月	607	7.2	523	5.6	1,130	6.4	608	7.7	546	6.2	1,154	6.9
3 月	432	5.1	392	4.2	824	4.6	464	5.8	536	6.0	1,000	6.0
合計	8,432	100	9,318	100	17,750	100	7,937	100	8,860	100	16,797	100

- 1) 2019 年度（第 4 期）は、1 月から 3 月を除き 2018 年度（第 3 期）より増加した。
- 2) 2019 年度（第 4 期）の健診稼働日は、248 日（男性 125 日、女性 123 日）と、2 日減少したが、受診者増加により 1 日の平均受診者数は 71.6 人（男性 67.5 人、女性 75.8 人）と男女ともに前年度より増加した。
- 3) 2019 年度（第 4 期）の 1 日平均受診者数は、最少 4 月が 33.6 人（男性 33.0 人、女性 34.1 人）、最大 11 月が 93.4 人（男性 91.3 人、女性 95.1 人）と格差は課題ながら、月別受診者 1,000 人以上は 10 ヶ月と受診者増に併せて平準化も推進された。また、月別受診者数 2,000 人以上は 2 ヶ月（前年 + 1 ヶ月）と受診のピークが継続した。

3. 性・年齢階級別受診者数

表 3 は、2019 年度（第 4 期）と 2018 年度（第 3 期）の受診者数を性・年齢階級別に示したものである。

表 3. 2019 年度（第 4 期）・2018 年度（第 3 期）の
性・年齢階級別受診者数

	2019 年度（第 4 期）						2018 年度（第 3 期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
29 歳以下	739	8.8	779	8.4	1,518	8.6	672	8.5	674	7.6	1,346	8.0
30 - 39 歳	1,446	17.1	1,641	17.6	3,087	17.4	1,360	17.1	1,478	16.7	2,838	16.9
40 - 49 歳	2,416	28.7	2,639	28.3	5,055	28.5	2,292	28.9	2,636	29.8	4,928	29.3
50 - 59 歳	2,203	26.1	2,589	27.8	4,792	27.0	2,043	25.7	2,387	26.9	4,430	26.4
60 - 69 歳	1,196	14.2	1,273	13.7	2,469	13.9	1,171	14.8	1,271	14.3	2,442	14.5
70 歳以上	432	5.1	397	4.3	829	4.7	399	5.0	414	4.7	813	4.8
合 計	8,432	100	9,318	100	17,750	100	7,973	100	8,860	100	16,797	100

- 1) 2019 年度（第 4 期）と 2018 年度（第 3 期）の年齢階級別の受診者を比較し、全年齢階級で増加した。
- 2) 年齢別には、男女ともに 39 歳以下の受診者の増加が顕著であった。

4. 性・受診回数別受診者数

表4は、2019年度（第4期）と2018年度（第3期）の受診者数を性別に受診回数とその割合を示したものである。

表4. 2019年度（第4期）・2018年度（第3期）の
性・受診回数別受診者数

	2019年度（第4期）						2018年度（第3期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
初回受診	2,132	25.3	2,614	28.1	4,746	26.7	2,135	26.9	2,577	29.1	4,712	28.1
2回	1,262	15.0	1,333	14.3	2,595	14.6	971	12.2	1,033	11.7	2,004	11.9
3回	718	8.5	751	8.1	1,469	8.3	588	7.4	663	7.5	1,251	7.4
4回	506	6.0	566	6.1	1,072	6.0	453	5.7	513	5.8	966	5.8
5回	385	4.6	417	4.5	802	4.5	389	4.9	424	4.8	813	4.8
6－9回	1,246	14.8	1,313	14.1	2,559	14.4	1,315	16.6	1,457	16.4	2,772	16.5
10－14回	1,143	13.6	1,400	15.0	2,543	14.3	1,141	14.4	1,368	15.4	2,509	14.9
15－19回	561	6.7	553	5.9	1,114	6.3	498	6.3	481	5.4	979	5.8
20－24回	268	3.2	212	2.3	480	2.7	253	3.2	192	2.2	445	2.6
25－29回	129	1.5	101	1.1	230	1.3	123	1.5	108	1.2	231	1.4
30回以上	82	1.0	58	0.6	140	0.8	71	0.9	44	0.5	115	0.7
合 計	8,432	100	9,318	100	17,750	100	7,937	100	8,860	100	16,797	100

- 1) 2019年度（第4期）の初回受診者は全体人数が前年度に比べ34人ほど増加したが、そのうち女性人数が主であった。
- 2) 2019年度（第4期）は前年度に比べ、受診回数2回については591人増加（男性291人、女性300人）3回－9回についても100人増加（男性110人増加、女性10人減少）、また10回以上は203人増加（男性86人、女性117人）、30回以上は25人増加（男性11人、女性14人）であった。
- 3) 2019年度（第4期）の受診回数は全体的に男性、女性についても増加傾向であった。

5. 契約健保・団体、一般・個人からの受診状況

表5は、契約健康保険組合と事業所団体（健保・団体）、協会けんぽならびに個人（一般・個人）からの受診状況を示したものである。2018年に新規契約した協会けんぽの健診は6月1日から開始、よって受診状況については2018年度（第3期）では健保・団体に集約していた受診者をあらたに2019年（第4期）からは個別に掲載した。

また、前年度同様に表に示した健診コースである「新宿区民健診」も一般・個人の受診であるが、受診状況については個別に記載した。

表 5. 2019 年度（第 4 期）・2018 年度（第 3 期）の
性・契約（一般・団体）別受診者数

	2019 年度（第 4 期）						2018 年度（第 3 期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
新宿区民健診	1	0.0	60	0.6	61	0.3	0	0.0	53	0.6	53	0.3
リレー(健保・団体脱退)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	23	0.3	22	0.2	45	0.3
MY ヘルス倶楽部	289	3.4	301	3.2	590	3.3	226	2.8	233	2.6	459	2.7
協会けんぽ	630	7.5	639	6.9	1,269	7.1	276	3.5	212	2.4	488	2.9
一般・個人	15	0.2	93	1.0	108	0.6	29	0.4	77	0.9	106	0.6
健保・団体	7,497	88.9	8,225	88.3	15,722	88.6	7,366	92.8	8,243	93.0	15,609	92.9
合計	8,432	100	9,318	100	17,750	100	7,937	100	8,860	100	16,797	100

- 1) 契約健康保険組合と事業所団体(健保・団体)の2019年度(第4期)の受診者割合は88.6%(2018年度92.9%)、前年度に含んでいた協会けんぽの受診者数を個別に分けたことにより、割合率が下がってはいるが、受診者については113人増加した。
- 2) 協会けんぽの受診者数は2018年度の開始に比べて2019年度(第4期)は健保・団体に次ぐ受診者割合が7.1%であり、男性は7.5%、女性6.9%、受診者数も781人増となり、うちリピート受診者が半数を占めた。
- 3) リレー(健保・脱退)については2018年12月1日にMYヘルス倶楽部へ統合したことにより、2019年度(第4期)はMYヘルス倶楽部の受診者数に含んだ人数になっている。MYヘルス倶楽部(第4期)の受診者数については590人で前年度より131人増加した。
- 4) 個人における「新宿区民健診」は2019年度(第4期)では若干、前年度と比較して受診者数が増加した。一般・個人については前年度(0.6%)と、受診者数は横ばいではあるが女性の受診については上昇傾向であった。

6. 性・年齢階級別腹部超音波・上部消化管(X線・内視鏡)検査の受診状況

表 6 は性・年齢階級別の腹部超音波、上部消化管X線、上部消化管内視鏡による各検査の受診者数とその割合を示したものである。

表 6. 2019 年度（第 4 期）・2018 年度（第 3 期）の
性・年齢階級別腹部超音波・上部消化管（X 線・内視鏡）検査受診状況

(男性)

	受診 者数	2019 年度（第 4 期）						受診 者数	2018 年度（第 3 期）					
		腹部超音波		上部消化管 X 線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管 X 線		上部消化管内視鏡	
		人	%	人	%	人	%		人	%	人	%	人	%
29 歳以下	739	46	6.2	17	2.3	19	2.6	672	38	5.7	15	2.2	11	1.6
30 - 39 歳	1,446	754	52.1	664	45.9	239	16.5	1,360	723	53.2	627	46.1	202	14.9
40 - 49 歳	2,416	2,144	88.7	1,575	65.2	676	28.0	2,292	2,115	92.3	1,520	66.3	624	27.2
50 - 59 歳	2,203	2,067	93.8	1,365	62.0	687	31.2	2,043	1,945	95.2	1,254	61.4	644	31.5
60 - 69 歳	1,196	1,099	91.9	628	52.5	424	35.5	1,171	1,102	94.1	657	56.1	378	32.3
70 歳以上	432	417	96.5	164	38.0	177	41.0	399	387	97.0	147	36.8	163	40.9
合 計	8,432	6,527	77.4	4,413	52.3	2,222	26.4	7,937	6,310	79.5	4,220	53.2	2,022	25.5

(女性)

	受診 者数	2019 年度（第 4 期）						受診 者数	2018 年度（第 3 期）					
		腹部超音波		上部消化管 X 線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管 X 線		上部消化管内視鏡	
		人	%	人	%	人	%		人	%	人	%	人	%
29 歳以下	779	47	6.0	18	2.3	17	2.2	674	49	7.3	25	3.7	14	2.1
30 - 39 歳	1,641	764	46.6	558	34.0	244	14.9	1,478	740	50.1	493	33.4	220	14.9
40 - 49 歳	2,639	2,101	79.6	1,349	51.1	689	26.1	2,636	2,163	82.1	1,431	54.3	664	25.2
50 - 59 歳	2,589	2,095	80.9	1,240	47.9	676	26.1	2,387	2,004	84.0	1,160	48.6	663	27.8
60 - 69 歳	1,273	1,074	84.4	567	44.5	362	28.4	1,271	1,094	86.1	570	44.8	357	28.1
70 歳以上	397	366	92.2	162	40.8	107	27.0	414	385	93.0	188	45.4	112	27.1
合 計	9,318	6,447	69.2	3,894	41.8	2,095	22.5	8,860	6,435	72.6	3,867	43.6	2,030	22.9

- 1) 2019 年度（第 4 期）の腹部超音波の実施率は、男性 77.4%（前年 79.5%）、女性 69.2%（前年 72.6%）で前年度から低下しているが、実施者は男女ともに増加。34 歳以下の定期健康診断においては腹部超音波が基本に含まれないことや、単科オプションならびに単科健診では婦人科（子宮頸がん検診）や乳房（エコー・マンモグラフィ）検査を希望する女性受診者が多く、そのため全体における腹部超音波の実施率が低下した。
- 2) 上部消化管 X 線検査の実施数は、男女ともに前年度より微増し、実施率は低下した。上部消化管内視鏡検査での実施者や実施率は、1 日の検査人数の増員、経鼻内視鏡の予約数の増加により前年度に比べて男女ともに大幅に増加した。

7. 女性の婦人科検診、乳房検診の実施状況

表 7 は女性の婦人科検診、乳房検診の実施状況、ならびに乳房検診におけるエコー（超音波）とマンモグラフィの実施者数と実施率を示したものである。

表 7. 2019 年度（第 4 期）・2018 年度（第 3 期）の
年齢階級別婦人科検診・乳房検診受診状況

	受診者数	2019 年度（第 4 期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		人	%	人	%	人	%	人	%
29 歳以下	779	195	25.0	219	28.1	211	27.1	17	2.2
30 - 39 歳	1,641	850	51.8	1,133	69.0	1,032	62.9	195	11.9
40 - 49 歳	2,639	1,770	67.1	2,091	79.2	1,187	45.0	1,308	49.6
50 - 59 歳	2,589	1,664	64.3	1,954	75.5	874	33.8	1,377	53.2
60 - 69 歳	1,273	827	65.0	958	75.3	378	29.7	683	53.7
70 歳以上	397	241	60.7	302	76.1	139	35.0	194	48.9
合 計	9,318	5,547	59.5	6,657	71.4	3,821	41.0	3,774	40.5

	受診者数	2018 年度（第 3 期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		人	%	人	%	人	%	人	%
29 歳以下	674	124	18.4	176	26.1	172	25.5	17	2.5
30 - 39 歳	1,478	777	52.6	1,042	70.5	946	64.0	165	11.2
40 - 49 歳	2,636	1,796	68.1	2,127	80.7	1,152	43.7	1,348	51.1
50 - 59 歳	2,387	1,565	65.6	1,849	77.5	796	33.3	1,289	54.0
60 - 69 歳	1,271	822	64.7	987	77.7	373	29.3	709	55.8
70 歳以上	414	239	57.7	303	73.2	134	32.4	198	47.8
合 計	8,860	5,323	60.1	6,484	73.2	3,573	40.3	3,726	42.1

- 1) 検診の実施率が最も高かった年齢階級は、前年度と同様 40 - 49 歳であった。
- 2) 乳房検診では、40 歳以上の受診者にはマンモグラフィを勧奨していることもあり、エコーの実施率は 30 - 39 歳が最も高かったが（62.9%）、40 歳以上からはマンモグラフィの実施率が高かった。
- 3) エコーの実施数は 3,821 人（前年 3,573 人）と大幅に増加し、実施率もマンモグラフィ（40.5%）に対しエコー（41.0%）が上回った。
- 4) 3Dマンモグラフィ実施率は 4.2%（前年 5.1%）、実施者は 388 人（前年 456 名）と減少傾向であった。

8. 性・検査対象疾患別の判定結果

表 8 は、人間ドック学会統計に準じて検査対象疾患別の判定結果を男女別に示したものである。
なお、判定は以下の通り人間ドック学会の判定基準に準拠した。

- C : 生活習慣の改善ならびに経過観察が必要
- D 1 : 治療が必要
- D 2 : 精密検査が必要
- E : 継続治療

表 8. 2019 年度（第 4 期）・2018 年度（第 3 期）の
性・検査対象疾患別判定結果

疾 患 名	検査方法	性別	2019 年度（第 4 期）				2018 年度（第 3 期）			
			判 定 区 分 (%)				判 定 区 分 (%)			
			C	D 1	D 2	E	C	D 1	D 2	E
肥 満（過 体 重）	身 体 測 定	男	30.2	0.0	0.0	0.0	29.9	0.0	0.0	0.0
		女	15.7	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
呼 吸 器 疾 患	胸 部 X 線	男	1.6	0.0	1.0	0.1	1.2	0.0	0.8	0.1
		女	1.6	0.0	1.0	0.2	1.1	0.0	1.1	0.2
高 血 圧	血 圧 測 定	男	7.9	1.7	0.0	15.9	8.4	2.2	0.0	15.9
		女	3.2	0.7	0.0	8.5	3.9	0.7	0.0	8.7
高コレステロール	血 液 生 化 学	男	27.5	5.4	0.0	0.0	24.4	4.1	0.0	0.0
		女	22.7	4.4	0.0	0.0	20.9	3.3	0.0	0.0
高 中 性 脂 肪	血 液 生 化 学	男	1.3	0.2	0.0	0.0	1.7	0.2	0.0	0.0
		女	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
高 尿 酸	血 液 生 化 学	男	4.0	1.2	0.0	7.4	3.7	1.1	0.0	7.3
		女	0.4	0.0	0.0	0.2	0.4	0.1	0.0	0.2
心 電 図 異 常	心 電 図	男	9.3	0.0	1.0	0.7	9.4	0.0	1.1	0.6
		女	6.3	0.0	0.6	0.1	6.5	0.0	0.8	0.1
食 道 疾 患	胃 部 X 線	男	18.5	0.2	1.0	0.0	3.2	0.0	0.4	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	13.1	0.0	0.5	0.0	2.5	0.0	0.2	0.0
胃 疾 患	胃 部 X 線	男	33.1	0.2	1.6	0.0	25.3	0.0	0.7	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	35.9	0.1	0.6	0.0	33.4	0.0	0.9	0.0
十 二 指 腸 疾 患	胃 部 X 線	男	4.2	0.1	0.2	0.0	1.9	0.0	0.1	0.0
		女	1.5	0.1	0.1	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
胆石・胆のうポリープ	腹 部 超 音 波	男	28.6	0.0	1.6	0.0	27.7	0.0	1.5	0.0
		女	20.7	0.0	1.3	0.0	19.5	0.0	1.2	0.0
肝 機 能 障 害 （ 脂 肪 肝 含 ）	血 液 生 化 学	男	36.0	0.0	4.9	0.3	37.1	0.0	5.1	0.4
	腹 部 超 音 波	女	13.3	0.0	0.9	0.3	13.2	0.0	1.0	0.2
糖 尿 病 （ 耐 糖 能 障 害 ）	血 液 生 化 学	男	12.7	3.7	0.2	5.4	15.5	4.2	0.5	5.5
		女	11.1	1.4	0.5	2.0	15.4	1.4	1.0	1.9
血 液 疾 患	血 液 生 化 学	男	10.6	0.0	4.1	0.1	9.7	0.0	3.5	0.1
		女	17.9	0.0	4.4	0.8	17.7	0.0	4.3	0.8
肛 門 ・ 大 腸 疾 患	便 潜 血 反 応	男	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	5.5	0.0
		女	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
前 立 腺 疾 患	P S A 検 査	男	0.0	0.0	5.4	0.1	0.1	0.0	5.1	0.1
		女	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
婦 人 科	婦 人 科	男	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		女	18.4	0.9	4.5	1.5	18.9	0.8	4.5	1.4
乳 房 疾 患	触 診 ・ 超 音 波	男	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	マンモグラフィ	女	7.2	0.0	0.7	0.0	8.7	0.0	1.1	0.0
その他の疾患		男	28.9	0.0	7.8	1.7	28.5	0.0	8.4	1.8
		女	22.8	0.0	5.3	2.2	23.4	0.0	5.8	2.1

- 1) 2019年度（第4期）の検査対象疾患別の判定結果で「要精密検査（D2）」と判定された割合が高い疾患は、男性では①肛門・大腸疾患、②前立腺疾患、③肝機能障害（脂肪肝含）、女性では①肛門・大腸疾患、②婦人科、③血液疾患であった。
- 2) 「生活習慣の改善ならびに経過観察が必要（C）」と判定された割合が高い疾患は、男性では、①肝機能障害（脂肪肝含）、②胃疾患、③肥満（過体重）、④胆石・胆のうポリープ、⑤高コレステロールであった。女性では、①胃疾患、②高コレステロール、③胆石・胆のうポリープ、④婦人科、⑤血液疾患であった。女性は前年度と変化がなかったが、男性の胃疾患が目立って増加した。

Ⅱ. 特定健診・特定保健指導・保健指導実施状況

2019年度は人間ドック受診者も増加し、特定健診対象者も比例して増加した。

特定保健指導（特保）は、健診当日での初回面接の対象健保が3社あり、今年度は、当日初回面接実施者が多くいた。昨年度からの改善策として特保の継続支援の案内にQRコードを付け、メールでのやり取りをスムーズにした。メールの運用は、従来の方法（手紙・電話・FAX）よりレスポンスなどのスピードや対象者の手軽さがあり、今後の運用には欠かせないツールとなっている。

健診当日の保健指導では、当日結果説明までの待ち時間に着替えや会計・外出も可能になったことで、受診者の時間の有効活用が広がった。検査数の違いから男女差はあるが、女性の方がより待ち時間が少なく、結果説明と保健指導の検査が実施できた。リピート受診者には前年度の保健指導のアドバイスコメントを確認しながら指導をすることでの的を射る指導や振り返りの一つにもなり、受診者との距離も縮まりやすいように感じた。次年度は、アドバイスを実践できたかを統計に加え、更なる発展を目指す。

2019 年度（第 4 期）・2018 年度（第 3 期）の
特定健診受診状況

	2019 年度（第 4 期）			2018 年度（第 3 期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
特定健診受診者数	8,431	9,317	17,748	7,048	7,597	14,645

2019 年度（第 4 期）・2018 年度（第 3 期）の
特定保健指導実施状況

	2019 年度（第 4 期）			2018 年度（第 3 期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
動機づけ	3	3	6	6	3	9
積極的	7	0	7	7	5	12
合計	10	3	13	13	8	21

2019 年度（第 4 期）・2018 年度（第 3 期）の
保健指導実施状況

	2019 年度（第 4 期）			2018 年度（第 3 期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
保健指導	3,305	2,302	5,607	3,535	2,697	6,232

Ⅲ. 調査研究・普及啓発活動

人間ドック等から得られるデータについて、公衆衛生の向上に資する調査研究および知見の普及啓発に取り組んでいる。

1. 論文、報告書、出版物などの報告・発行

著 者 名	題 名	掲載誌名・発行年
Shimada, N., Kinoshita, S., Nakabayashi, E., Miyake, R., Shioya, H., Uchida, K., Seki, Y., Hata, M., Harada, J., Takeyama, H.	Feasibility of ultrasound monitoring in comparison with magnetic resonance for breast cancer cryoablation.	Low Temperature Medicine 44(2), 22-25 (2019)
内田 賢	乳がんの遺伝とリスク	明治安田健康増進支援センター季刊誌「よってもって」2, 10 (2019)
山下陽子	睡眠中、呼吸できていますか？	明治安田健康増進支援センター季刊誌「よってもって」3, 10 (2020)

2. 学会・研究会の発表

著 者 名	題 名	学会・研究会・開催地・月	掲載誌名・発行年
米澤裕子、江夏直子、中田希代子、進藤仁、山下陽子、内田賢	人間ドックにおける保健指導受診者の満足度実態調査（報告）	第60回日本人間ドック学会 岡山 7月	人間ドック 34 (2), 176 (284) (2019)
内田 賢、大橋仁志、神尾麻紀子	閉経後の高濃度乳房の特性	第29回日本乳癌検診学会 福井 11月	第29回日本乳癌検診学会学術総会 プログラム抄録集 108 (2019)
内田 賢	特別企画「超音波診断における乳腺・甲状腺疾患の良・悪性診断のポイント」 司会	第52回日本内分泌学外科学会 東京 11月	日本内分泌外科学会雑誌 36, 195 増刊号 (2019)
Uchida, K., Kitano, N., Yamaguchi, D., Nogi, H., Kamio, M., Takeyama, H.	Impaired glucose tolerance decreases mammographic density in Japanese women.	42th San Antonio Breast Cancer Symposium San Antonio Dec.	42th San Antonio Breast Cancer Symposium PROGRAM BOOK 163 (2019)

3. ホームページによる健康情報発信

健康のひけつ

No.	年	月	題名	執筆者名
19	2019	5	魚を食べよう！週何回食べると良い？	管理栄養士 健康運動指導士 江夏直子
20	2019	6	感染症が引き起こすがん&その対策は？	医師 内田 賢
外部寄稿	2019	9	「座りすぎ」を知っていますか？	体力医学研究所 研究員 甲斐裕子
21	2019	9	最近の高血圧事情について	医師 中田希代子
22	2019	11	ケガなく運動をする秘訣	理学療法士 西村裕介
23	2019	12	過敏性腸症候群（IBS）とFODMAP	医師 進藤 仁
24	2019	12	便潜血検査でわかること	臨床検査技師 芝田なおみ 寺本千晴
25	2020	1	あなたの症状は風邪ですか？	診療放射線技師 グループ
26	2020	1	質の良い睡眠とは？	保健師 米澤裕子
27	2020	1	質の良い睡眠のポイント	保健師 米澤裕子
28	2020	2	緊張をやわらげるコツ	看護師 薬師神道子

2. 健康増進支援事業

1. 健康情報の普及啓発

(1) 健康増進セミナー

科学的根拠に基づいた健康情報の普及啓発活動として、健康増進セミナーを実施した。実施状況は表のとおり。

実施実績※	社内向け※※	社外向け
168回	104回	64回

※ 地方創生・健康経営を除く

※※ 社内向け：明治安田生命保険相互会社および同社グループ会社等の従業員を対象に実施

(2) 健康経営の普及啓発・活動支援

健康経営の各種認定取得、講演の実施、他社支援等、幅広く実施した。実施状況に関しては表のとおり。

①自社の健康経営各種認定状況

No.	年度目標（認定団体）	ステータス
1	東京都スポーツ推進企業（東京都）	認定：2019年11月29日（モデル企業認定2020年3月17日）
2	健康優良企業（銀の認定） （健康保険組合連合会東京支部）	認定：2019年12月1日
3	スポーツエールカンパニー （スポーツ庁）	認定：2019年12月23日
【その他】		
	健康優良企業（金の認定） （健康保険組合連合会東京支部）	認定：2019年12月18日
	健康経営優良法人（経済産業省）	認定：2020年3月2日

②健康経営セミナー

（ ）は実施回数

実施実績	開催地
16回	名古屋（2）・東京（4）・福岡・浦和・船橋・横浜・金沢・静岡・京都・広島・岡崎・水戸

(3) 地方創生支援

自治体等と連携し各地で取り組みを実施した。実施状況に関しては表のとおり。

実施実績	開催地
8回	大分・福島・東京・福島・福井・千葉・福井・香川

2. 調査研究活動

(1) 論文、報告書、出版物などの報告・発行

No.	題名	連携先・発行元
1	チーフ健活サポーターブック	明治安田生命保険相互会社人事部
2	チーフ健活サポーターツールブック	明治安田生命保険相互会社人事部
3	健康知識ブック（簡易版）	オリジナル
4	健康知識テキスト2019	明治安田生命保険相互会社営業人事部
5	働く仲間のための健活マニュアル	明治安田生命保険相互会社人事部
6	お客さま対応品質検定テキスト	明治安田生命保険相互会社営業人事部

(2) 学会・研究会の発表

No.	著者名	題名	学会・研究会・開催地・月	掲載誌名・発行年
1	小野寺由美子、北濃成樹、中村有里、朽木勤、町田修一	座位行動・身体活動時間の置き換えと中高齢者の気分との横断的関連：isotemporal substitutionモデルを用いた検討	第74回日本体力医学会 茨城 9月	The journal of Physical Fitness and Sports Medicine (2019)
2	Yuki Hikihara, Masashi Watanabe, Tomoko Aoyama, Hitoshi Wakabayashi, Satoshi Hanawa and Shigeho Tanaka	Earlier acquisition of fundamental movement skills promotes adolescent physical activity in Japanese elementary school children: a 4-year follow-up study	2019 ASICS SMA Conference in Sunshine Coast Australia 10月	Journal of Science and Medicine in Sport 22(S2) (2019) S87
3	M. Watanabe, Y. Hikihara, T. Aoyama, H. Wakabayashi, S. Hanawa, S. Tanaka	What factors during young childhood affect adolescent aerobic fitness in Japanese children? A 4-year follow-up study	2019 ASICS SMA Conference in Sunshine Coast Australia 10月	Journal of Science and Medicine in Sport 22(S2) (2019) S113

(3) 健康情報誌の出版・寄稿

科学的根拠に基づいた健康情報を多くの方へ届けるために、健康情報誌の出版、寄稿を実施した。

①明治安田生命職員冊子「まなび！（健活サポーターのための健康プチ情報）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2019	5	健康診断・体重管理について	西村 裕介
2	2019	7	暑い季節の水分補給	小川 将司
3	2019	9	血糖	中村 有里
4	2019	11	肝臓	鶴田 愛
5	2020	2	血圧	北川 瑛梨子

②明治安田生命労働組合冊子「きらら（健康あれこれ）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2019	5	効率的なウォーキング編	北川 瑛梨子
2	2019	7	疲れたカラダのケア編	西村 裕介
3	2019	9	座りすぎ編	塙 智史
4	2019	11	3種コンプリート食事（主食・主菜・副菜）編	門井 えり子
5	2020	1	睡眠編	小川 将司
6	2020	3	日常生活には身体を動かすチャンスが隠されている！	加藤 明恵

③明治安田厚生事業団健康情報誌「健康づくりウォッチ」

No.	年	月	題名	著者名
1	2019	5	歩く速度が遅くなったら要注意！	塙 智史
2	2019	7	元気に楽しく歩くための準備とケア	塙 智史
3	2019	9	〇〇をしていたら、結果歩いていました	西村 裕介

(4) メディア掲載

科学的根拠に基づいた健康情報を普及啓発するため、広報活動を実施した。実施状況に関しては表のとおり。

No.	年	月	媒体	掲載（番組）タイトル
1	2019	6	新聞	世界一「座りすぎ」日本 糖尿病、認知症…死亡リスク上昇
2	2019	7	新聞	従業員の体調管理通じ生産性向上を
3	2019	10	Web	スポーツ庁Web広報マガジンDEPORTARE 日本人の座位時間は世界最長「7」時間！座りすぎが健康リスクを高める あなたは大丈夫？その対策とは・・・
4	2019	10	新聞	好循環を生む健康経営
5	2020	2	新聞	手軽な筋トレ50人が体験 高松でスポーツ・健康感謝祭
6	2020	3	Web	東京都スポーツTOKYOインフォメーション 東京都スポーツ推進企業（令和元年度）モデル企業を選定！
7	2020	3	雑誌	令和元年度東京都スポーツ推進企業取組事例集

Ⅲ．理事会に関する事項

理 事 会 議 事 録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

令和元年6月10日（月曜日）午後4時10分、東京都新宿区西新宿2-2-1 京王プラザホテルにおいて、理事会を開催

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

第1号議案 業務執行理事の選定の件

第2号議案 常務理事の選定の件

報告事項

第1号報告 業務執行状況報告の件

第2号報告 中期経営計画の取組み状況の件

第3号報告 規程類の改正の件

総理事数及び出席理事数

(1) 総理事数 4名

(2) 出席理事数 4名

出席理事

内田 賢氏、熊井 毅氏、岡野 学氏、中熊一仁氏

出席監事

鈴木竹夫氏、白井道昭氏

1. 開会に先立ち、岡野事務局長より、現在の総理事数4名のうち、本日の出席理事数は4名であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 理事長中熊一仁氏は、議長を務める旨を述べ全員の賛同を得て、開会を宣した。
3. 議長は、第1号議案「業務執行理事の選定の件」を上議した。評議員会において理事に選任された岡野学氏を業務執行理事として選定する旨を述べ、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し承認可決された。
4. 議長は、第2号議案「常務理事の選定の件」を上議し、現業務執行理事の熊井毅氏を常務理事として選定する旨を述べ、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し承認可決された。
5. 議長は、第1号報告「業務執行状況報告の件」を上議し資料配布して報告した。
6. 議長は、第2号報告「中期経営計画の取組み状況の件」を上議し資料配布して報告した。
7. 議長は、第3号報告「規程類の改正の件」を上議し、資料配布して報告した。

以上をもって議事を終了したので、午後4時30分、議長は閉会を宣した。

理 事 会 議 事 録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

令和2年3月17日（火曜日）午前10時20分、東京都新宿区西新宿1-8-3 小田急明治安田生命ビル9Fにおいて、2020年3月定例理事会を開催

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

- 第1号議案 中期経営計画の件
- 第2号議案 2020年度（第5期）事業計画・収支予算の件
- 第3号議案 事務局長選任の件
- 第4号議案 規程類改廃の件

報告事項

- 第1号報告 職務執行状況報告の件
- 第2号報告 業務執行理事退任の件
- 第3号報告 監事退任の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 4人
- (2) 出席理事数 4人

出席理事

中熊 一仁氏、熊井 毅氏、内田 賢氏、岡野 学氏

出席監事

白井 道昭氏

1. 開会に先立ち、岡野事務局長より、現在の総理事数4人のうち、本日の出席理事数は4人であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 理事長中熊一仁氏は、定款第32条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣した後、定款第34条の規定に従って、本理事会の議事録を作成のうえ、理事長および監事が記名押印することを述べた。
3. 議長は、第1号議案「中期経営計画の件」を上議し、議長は、計画案を配付して、2020年度から2022年度までの中期経営計画について説明した。
議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決された。
4. 議長は、第2号議案「2020年度（第5期）事業計画・収支予算の件」を上議し、議長は、予算案を配付して、2020年度の経営目標と実行計画について説明した。
議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決された。
5. 議長は、第3号議案「事務局長選任の件」を上議し、議長は、理事会終結の時をもって岡野学氏が事務局長を辞任し後任として森田健氏を事務局長に選任する旨を述べ審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し承認可決された。
6. 議長は、第4号議案「規程類改廃の件」を上議し、議長は、規程案を配付して、経営会議と常任理事会を経営会議に一本化することに際して改廃する関連諸規定の概要および内容について説明した。
議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決された。
7. 議長は、第1号報告「職務執行報告の件」を上議し、資料配布して報告した。
8. 議長は、第2号報告「業務執行理事退任の件」を上議し、資料配布して報告した。
9. 議長は、第3号報告「監事退任の件」を上議し、資料配布して報告した。

以上をもって議事を終了したので、午前11時10分、議長は閉会を宣した。

一般財団法人 明治安田健康開発財団

みなし決議に関する理事会議事録

1. 理事会の決議があったものとみなされた日
2019年5月24日
2. 理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者
理事長 中熊 一仁
3. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 第3期計算書類等の承認の件
第2号議案 定時評議員会招集の件
4. 理事総数 4名
監事総数 2名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
理事長 中熊 一仁

2019年5月13日、理事長中熊一仁が理事の全員及び監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2019年5月24日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律96条（定款第33条第2項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

IV. 評議員会に関する事項

評 議 員 会 議 事 録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

令和元年6月10日(月曜日)午後3時45分、東京都新宿区西新宿2-2-1 京王プラザホテルにおいて、
評議員会を開催

会 議 の 目 的 事 項

(1) 決議事項

- | | |
|-------|---------------|
| 第1号議案 | 第3期計算書類等の承認の件 |
| 第2号議案 | 理事1人選任の件 |
| 第3号議案 | 監事1人選任の件 |

(2) 報告事項

- | | |
|-------|----------------|
| 第1号報告 | 第3期事業報告の内容報告の件 |
|-------|----------------|

総評議員数及び出席評議員数

- | | |
|------------|----|
| (1) 総評議員数 | 4名 |
| (2) 出席評議員数 | 3名 |

出席評議員

阪本要一氏、下門顯太郎氏、上坊敏子氏

1. 定款 18 条の規定に従って、評議員の互選により評議員上坊敏子氏を議長に選任し、議長は定款第 20 条の規定に従い、評議員阪本要一氏及び評議員下門顯太郎氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
2. 議長は、第 1 号議案「第 3 期計算書類等の承認の件」、および第 1 号報告「第 3 期事業報告の内容報告の件」を上議し、まず第 3 期事業報告の内容を説明した。決算の内容については年度始の計画に対して受診者数は上回ったものの、健診収入・損益はいずれも下回ったことを説明した。
次に、第 3 期決算に関し、議長は、貸借対照表、正味財産増減計算書、事業費明細書及び財産目録等の各案を各評議員に配付し、主要事項を中心に説明した。
議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。
3. 議長は、第 2 号議案「理事 1 名選任の件」につき、現理事竹内崇文氏が本日付をもって理事を辞任するとの申出があったので別紙評議員会第 2 号議案の記載のとおり岡野学氏を新たに選任したい旨を述べ、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、議案のとおり承認可決した。
4. 議長は、第 3 号議案「監事 1 名選任の件」につき、現監事浅野芳一氏が本日付をもって監事を辞任するとの申出があったので別紙評議員会第 3 号議案の記載のとおり白井道昭氏を新たに選任したい旨を述べ、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、議案のとおり承認可決した。
5. 議長は、第 1 号報告「第 3 期事業報告の内容報告の件」については、第 1 号議案審議にて説明したので、省略した。

以上をもって議事を終了したので、午後 4 時 10 分、議長は閉会を宣した。

V. 寄附に関する事項

第4期は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり寄附を受けた。

受領年月日	金額（円）
2019年9月25日	57,000,000

第 4 期 決 算 報 告

2019年4月1日から2020年3月31日まで

I. 貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	50,205,076	106,579,832	- 56,374,756
未 収 金	94,206,380	72,178,615	22,027,765
前 払 金	9,118,946	8,296,073	822,873
貯 蔵 品	1,485,489	1,036,171	449,318
流 動 資 産 合 計	155,015,891	188,090,691	- 33,074,800
2. 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
普 通 預 金	3,000,000	3,000,000	0
基 本 財 産 合 計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	49,572,223	44,858,664	4,713,559
特 定 資 産 合 計	49,572,223	44,858,664	4,713,559
(3) その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	30,174,536	30,036,864	137,672
什 器 備 品	67,025,587	70,740,024	- 3,714,437
ソ フ ト ウ ェ ア	17,398,882	19,879,280	- 2,480,398
その他固定資産合計	114,599,005	120,656,168	- 6,057,163
固 定 資 産 合 計	167,171,228	168,514,832	- 1,343,604
資 産 合 計	322,187,119	356,605,523	- 34,418,404
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	51,379,319	84,933,379	- 33,554,060
預 り 金	4,935,790	4,162,339	773,451
未 払 法 人 税 等	70,000	70,000	0
賞 与 引 当 金	13,819,262	12,837,557	981,705
流 動 負 債 合 計	70,204,371	102,003,275	- 31,798,904
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	49,572,223	44,858,664	4,713,559
固 定 負 債 合 計	49,572,223	44,858,664	4,713,559
負 債 合 計	119,776,594	146,861,939	- 27,085,345
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一 般 正 味 財 産 合 計	202,410,525	209,743,584	- 7,333,059
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
正 味 財 産 合 計	202,410,525	209,743,584	- 7,333,059
負債及び正味財産合計	322,187,119	356,605,523	- 34,418,404

Ⅱ. 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,039	895	144
特定資産受取利息	1,039	895	144
事業収益	723,323,101	656,955,252	66,367,849
健診事業収益	668,672,617	628,457,492	40,215,125
業務受託収益	28,497,760	28,497,760	0
健康支援事業収益	26,152,724	0	26,152,724
受取寄附金	57,000,000	47,000,000	10,000,000
受取寄附金	57,000,000	47,000,000	10,000,000
雑収益	1,568,395	1,491,344	77,051
雑収益	1,568,395	1,491,344	77,051
経常収益計	781,892,535	705,447,491	76,445,044
(2) 経常費用			
事業費	726,520,890	619,120,647	107,400,243
役員報酬	2,468,160	2,468,160	0
給料手当	336,160,119	283,062,965	53,097,154
法定福利費	34,584,984	27,869,511	6,715,473
臨時雇賃金	7,623,066	7,225,153	397,913
退職給付費用	5,110,345	3,341,090	1,769,255
福利厚生費	10,659,924	7,874,036	2,785,888
派遣経費	1,529,576	3,854,340	- 2,324,764
旅費交通費	1,517,602	198,726	1,318,876
会議費	0	5,963	- 5,963
通信運搬費	18,240,007	16,337,045	1,902,962
減価償却費	33,880,788	31,775,978	2,104,810
消耗什器備品費	3,290,278	534,533	2,755,745
消耗品費	27,806,391	25,236,435	2,569,956
修繕費	10,810,827	7,070,482	3,740,345
保守費	7,187,484	5,972,495	1,214,989
印刷製本費	20,089,814	8,899,227	11,190,587
研究調査費	948,784	1,257,765	- 308,981
光熱水料	6,682,518	6,398,646	283,872
リース料	3,330,841	3,396,721	- 65,880
賃借料	82,774,272	81,079,740	1,694,532
不動産管理費	5,230,680	5,123,280	107,400
不保険料	0	110,380	- 110,380
諸謝金	382,516	239,241	143,275
租税公課	2,200	1,331	869
委託費	85,832,694	69,717,424	16,115,270
業務推進費	13,977,966	14,020,674	- 42,708
雑費	6,399,054	6,049,306	349,748

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管 理 費	60,270,657	74,668,927	- 14,398,270
役 員 報 酬	8,397,772	7,355,472	1,042,300
給 料 手 当	27,199,594	24,473,417	2,726,177
法 定 福 利 費	4,333,930	3,669,182	664,748
退 職 給 付 費	203,478	591,306	- 387,828
福 利 厚 生 費	1,358,166	2,031,649	- 673,483
派 遣 経 費	2,076,980	0	2,076,980
旅 費 交 通 費	716,394	208,603	507,791
会 議 費	169,563	0	169,563
通 信 運 搬 費	1,815	150	1,665
減 価 償 却 費	1,101,095	1,447,447	- 346,352
消 耗 什 器 備 品 費	95,800	3,357,372	- 3,261,572
消 耗 品 費	268,018	31,872	236,146
修 繕 費	9,600	277,570	- 267,970
保 守 費	1,645,664	1,284,155	361,509
印 刷 製 本 費	220,000	262,652	- 42,652
研 究 調 査 費	93,657	17,594	76,063
リ ー ス 料	707,784	685,924	21,860
保 険 料	559,200	390,410	168,790
諸 謝 金	1,099,970	3,239,455	- 2,139,485
租 税 公 課	1,156,250	1,458,789	- 302,539
支 払 寄 付 金	5,500,000	5,500,000	0
業 務 推 進 費	231,704	274,704	- 43,000
委 託 費	3,051,881	17,870,255	- 14,818,374
雑 費	72,342	240,949	- 168,607
経常費用計	786,791,547	693,789,574	93,001,973
当 期 経 常 増 減 額	- 4,899,012	11,657,917	- 16,556,929
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	5,047	- 5,047
雑 損 失	2,364,047	2,756,727	- 392,680
経常外費用計	2,364,047	2,761,774	- 397,727
当 期 経 常 外 増 減 額	- 2,364,047	- 2,761,774	397,727
税引前当期一般正味財産増減額	- 7,263,059	8,896,143	- 16,159,202
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	- 7,333,059	8,826,143	- 16,159,202
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	209,743,584	200,917,441	8,826,143
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	202,410,525	209,743,584	- 7,333,059
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	202,410,525	209,743,584	- 7,333,059

正味財産増減計算書内訳表

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科 目	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	0	1,039	0	1,039
特定資産受取利息	0	1,039	0	1,039
事業収益	723,323,101	0	0	723,323,101
健診事業収益	668,672,617	0	0	668,672,617
業務受託収益	28,497,760	0	0	28,497,760
健康支援事業収益	26,152,724	0	0	26,152,724
受取寄附金	57,000,000	0	0	57,000,000
受取寄附金	57,000,000	0	0	57,000,000
雑収益	368,395	1,200,000	0	1,568,395
雑収益	368,395	1,200,000	0	1,568,395
経常収益計	780,691,496	1,201,039	0	781,892,535
(2) 経常費用				
事業費	726,520,890	0	0	726,520,890
役員報酬	2,468,160	0	0	2,468,160
給料手当	336,160,119	0	0	336,160,119
法定福利費	34,584,984	0	0	34,584,984
臨時雇賃金	7,623,066	0	0	7,623,066
退職給付費用	5,110,345	0	0	5,110,345
福利厚生費	10,659,924	0	0	10,659,924
派遣経費	1,529,576	0	0	1,529,576
旅費交通費	1,517,602	0	0	1,517,602
通信搬費	18,240,007	0	0	18,240,007
減価償却費	33,880,788	0	0	33,880,788
消耗什器備品費	3,290,278	0	0	3,290,278
消耗品費	27,806,391	0	0	27,806,391
修繕費	10,810,827	0	0	10,810,827
保守費	7,187,484	0	0	7,187,484
印刷製本費	20,089,814	0	0	20,089,814
研究調査費	948,784	0	0	948,784
光熱水料費	6,682,518	0	0	6,682,518
リース料	3,330,841	0	0	3,330,841
賃借料	82,774,272	0	0	82,774,272
不動産管理費	5,230,680	0	0	5,230,680
租税公課	2,200	0	0	2,200
諸謝金	382,516	0	0	382,516
委託費	85,832,694	0	0	85,832,694
業務推進費	13,977,966	0	0	13,977,966
雑費	6,399,054	0	0	6,399,054

科 目	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
管 理 費	0	60,270,657	0	60,270,657
役 員 報 酬	0	8,397,772	0	8,397,772
給 料 手 当	0	27,199,594	0	27,199,594
法 定 福 利 費	0	4,333,930	0	4,333,930
退 職 給 付 費	0	203,478	0	203,478
派 遣 経 費	0	2,076,980	0	2,076,980
福 利 厚 生 費	0	1,358,166	0	1,358,166
旅 費 交 通 費	0	716,394	0	716,394
会 議 費	0	169,563	0	169,563
通 信 運 搬 費	0	1,815	0	1,815
減 価 償 却 費	0	1,101,095	0	1,101,095
消 耗 什 器 備 品 費	0	95,800	0	95,800
消 耗 品 費	0	268,018	0	268,018
修 繕 費	0	9,600	0	9,600
保 繕 守 費	0	1,645,664	0	1,645,664
印 刷 製 本 費	0	220,000	0	220,000
研 究 調 査 費	0	93,657	0	93,657
リ 一 ス 料	0	707,784	0	707,784
保 険 料	0	559,200	0	559,200
支 払 寄 付 金	0	5,500,000	0	5,500,000
諸 務 謝 金	0	1,099,970	0	1,099,970
業 務 推 進 費	0	231,704	0	231,704
租 税 公 課	0	1,156,250	0	1,156,250
委 託 費	0	3,051,881	0	3,051,881
雑 費	0	72,342	0	72,342
経常費用計	726,520,890	60,270,657	0	786,791,547
当 期 経 常 増 減 額	54,170,606	- 59,069,618	0	- 4,899,012
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
什器備品除却損	0	0	0	0
雑 損 失	0	2,364,047	0	2,364,047
経常外費用計	0	2,364,047	0	2,364,047
当 期 経 常 外 増 減 額	0	- 2,364,047	0	- 2,364,047
他会計振替前				
当期一般正味財産増減額	54,170,606	- 61,433,665	0	- 7,263,059
他 会 計 振 替 額				
税引前当期一般正味財産増減額	54,170,606	- 61,433,665	0	- 7,263,059
法人税、住民税及び事業税	0	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	54,170,606	- 61,503,665	0	- 7,333,059
一般正味財産期首残高				209,743,584
一般正味財産期末残高				202,410,525
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0	202,410,525

Ⅲ. 財務諸表に対する注記

1. この財務諸表は「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 内閣府 公益認定等委員会)によって作成されています。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法により期末評価を行っています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産の減価償却の方法は定額法によっています。

(3) 賞与引当金の計上基準

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

(4) 退職給付引当金の計上基準

退職給付引当金については、当期より計上基準を従来方式(「退職金規定に基づく期末要支給額を計上する方式」)から一部変更しております。変更内容は以下のとおりです。

(定年退職扱いが適用される 55 歳到達時以前)

退職金規定に基づく期末要支給額を計上(従来どおり)

(定年退職扱いが適用される 55 歳到達時以降)

退職金規定に基づく期末要支給額をもとに、55 歳到達時から定年(60 歳)到達時までの各年度の費用が平準化されるよう引当金を計上

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっています。

(6) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、リース会計基準を適用しています。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	44,858,664	5,103,823	390,264	49,572,223
小 計	44,858,664	5,103,823	390,264	49,572,223
合 計	47,858,664	5,103,823	390,264	52,572,223

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
	円	円	円	円
基本財産				
普 通 預 金	3,000,000	—	(3,000,000)	—
小 計	3,000,000	—	(3,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	49,572,223	—	—	(49,572,223)
小 計	49,572,223	—	—	(49,572,223)
合 計	52,572,223	—	(3,000,000)	(49,572,223)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建 物 附 属 設 備	40,115,824	9,941,288	30,174,536
什 器 備 品	132,608,844	65,583,257	67,025,587
合 計	172,724,668	75,524,545	97,200,123

6. 関連当事者との取引内容

当期は関連当事者である明治安田生命保険相互会社より健康増進支援センター運営に係る資金として寄附金 57,000,000 円を受領しております。

IV. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載のとおりです。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	12,837,557	14,076,862	13,095,157		13,819,262
退職給付引当金	44,858,664	5,103,823	390,264		49,572,223

V. 財産目録

2020 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	693,877	
		普通預金	運転資金として	49,511,199	
		三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店		38,349,518	
		八十二銀行 新宿支店		367,595	
		広島銀行 東京支店		812,435	
		静岡銀行 新宿支店		1,962,058	
		横浜銀行 新宿支店		2,660,792	
		東日本銀行 新宿支店		1,333,289	
		肥後銀行 東京支店		355,188	
		スルガ銀行 東京支店		667,294	
		山梨中央銀行 新宿支店		197,481	
		みずほ銀行 新宿新都心支店		2,804,845	
	三井住友銀行 新宿通支店		704		
未収金	健診事業に係る未収金等	健診事業に係る未収金等	94,206,380		
前払金	賃借料等の前払金	賃借料等の前払金	9,118,946		
貯蔵品	手元保管	医薬品等の貯蔵品	1,485,489		
流動資産合計				155,015,891	
(固定資産) 基本財産	預金	普通預金	最低純資産額の維持・確保を目的とする財産	3,000,000	
		三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店		3,000,000	
	特定資産	退職給付引当資産	普通預金	退職金支払いの資金として管理されている預金	49,572,223
			三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店		49,572,223
	その他固定資産	建物附属設備 什器備品 ソフトウェア	東京都新宿区西新宿 1-8-3	各事業の用に供している	114,599,005
					30,174,536
				67,025,587	
				17,398,882	
固定資産合計				167,171,228	
資産合計				322,187,119	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動負債)	未払金	健診機器・システム納入業者に対する未払金等	健診事業の用に供する什器備品・消耗品の購入、外注検査費の未払い分等	51,379,319
	未払金			16,646,045
	割賦未払金			19,508,474
	未払消費税等			15,224,800
	預り金	従業員等からの預り金	従業員等から源泉徴収した社会保険料等の預り金	4,935,790
	賞与引当金	従業員に対するもの	従業員 21 名に対する賞与の支払いに備えたもの	13,819,262
	未払法人税等	未払法人税等	未払法人税等	70,000
流動負債合計				70,204,371
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員 21 名に対する退職金の支払いに備えたもの	49,572,223
固定負債合計				49,572,223
負債合計				119,776,594
正味財産				202,410,525

Ⅵ. 監査報告書

監査報告書

2020 年 5 月 11 日

一般財団法人 明治安田健康開発財団

理事長 中 熊 一 仁 殿

監事

白井道昭



私は、当財団の 2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの第 4 期事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項（同法 197 条において準用する第 99 条第 1 項）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当財団の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当事業年度に係る事業報告を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第 5 期 事 業 計 画

2020年4月1日から2021年3月31日まで

I. 基本方針

以下の事業計画は、2020年4月以降の新型コロナウイルス感染に伴う国の緊急事態宣言発出前に策定したものであり、2020年5月末時点で、第5期事業計画の修正方針を検討している段階である。基本的には、2020年4～5月の健診業務一時休止に伴い、年間の数値計画を下方修正するとともに、6月以降の健診業務再開後は、お客さまが安全で安心して受診できるよう万全を尽くした健診体制の提供を最優先に考えた事業運営を行う予定である。

事業計画の修正版については、上期に改めて検討・作成した上で、理事会にて別途再決議を行う予定である。

1. 人間ドック（健診）事業

健診技術の一層の向上を図るとともに、新規健診項目の実施を含めて、受診を喚起する諸対策を積極的に進める。

健診サービスの向上、事務リスク縮減により満足度アップを図り、受診者数、健診収益の増大に取り組む。

2. 健康増進支援事業

明治安田生命グループの「みんなの健活プロジェクト」での健康増進の支援と健康経営の支援に加えて、「地元の元気プロジェクト」に協力し、イベント等の支援を行うことで健康増進の推進に取り組む。

健康経営の推進では、健康経営優良法人の認定支援や「MYライフ・ドック[®]」の活用を通じ、企業・団体の職員の健康増進をサポートする。

II. 実行計画

1. 人間ドック（健診）事業

(1) 健診精度の向上および職員のスキルアップの支援

- ①人間ドック健診施設機能評価（Ver.4.0）更新に向けた取り組みを開始
- ②職員のスキルアップのため研修会等への参加奨励と関係資格取得のための支援、および社内研究会・研修会の計画的実施

(2) 受診者数と健診収益を増大させるための諸対策の実施

- ①継続受診率の向上にむけ、初回受診者への継続受診勧奨、階層別傾向分析による有効なサービスの実施、前年受診月の3カ月前の勧奨ハガキの発信、アプリ活用で勧奨
- ②新規受診者の獲得へ、ホームページの充実やWeb予約の強化を図るとともに既契約団体の深耕、新規契約団体の開拓に注力
- ③午後の時間を活用した人間ドックと単科健診（乳房検診・婦人科検診）を推進するとともに、協会けんぽの健診受け入れ拡大で、多様な受診者ニーズに対応

- (3) 健康増進・疾病予防に関するアフターフォローの推進
 - ①健診時におけるリスクスクリーニングによる未病、予防の取組
 - ②健診結果に基づく、精密検査・再検査の勧奨や健康情報の提供を目的とした健診結果改善フォローの強化
 - ③健診の当日結果説明の充実、運動・栄養・医師による保健指導の強化
 - ④健保からの要請に対応できる特定保健指導体制の構築
- (4) 事務リスクの縮減と健診サービスの向上
 - ①円滑で効率的な事務運営と事務リスク縮減を図るために運営体制改革分科会の強化
 - ②お客さま満足度の一層の向上を目的とした顧客対応向上分科会の運営強化
- (5) 明治安田厚生事業団との調査研究活動の連携による健康増進の推進
 - ①ウェルネス開発室との連携による健康経営推進団体への支援
 - ②「MYライフ・ドック[®]」を社内外へ周知し、人間ドックの付加価値を追求

2. 健康増進支援事業

- (1) 明治安田生命の「みんなの健活プロジェクト」を支援
 - ①全従業員の健康診断結果の改善を含めたヘルスリテラシーの向上
 - ②日常生活に即した内容の体験型セミナーの開催
 - ③職場の健康づくりプログラムの提供で健活をサポート
- (2) 健康増進を推進する団体・企業・自治体の支援
 - ①健康経営優良法人の認定支援を中心とした企業・団体の健康経営を支援
 - ②自治体との連携における健康増進に関するイベント等の支援
 - ③科学的根拠に基づいた、効果の高い支援が実装できる人材の確保と育成

Ⅲ. 収支予算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	収益事業 健診事業	収益事業 健康支援事業	法人会計	内部取引 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	0		0
基本財産受取利息	0	0	0		0
特定資産運用益	0	0	0		0
特定資産受取利息	0	0	0		0
事業収益	718,000	96,100	0		814,100
健診事業収入	680,000	0	0		680,000
業務受託収益	38,000	96,100	0		134,100
受取寄付金	0	0	0		0
受取寄附金	0	0	0		0
雑収益	0	0	0		0
雑収益	0	0	0		0
経常収益計	718,000	96,100	0	0	814,100
(2) 経常費用					
事業費	661,005	88,749			749,753
給料手当	308,644	60,545			369,188
法定福利費	30,765	5,983			36,748
臨時雇賃金	4,545	0			4,545
退職給付費用	6,783	0			6,783
福利厚生費	8,560	2,778			11,338
旅費交通費	336	1,703			2,039
通信運搬費	17,440	102			17,542
減価償却費	38,476	3,359			41,835
消耗什器備品費	738	453			1,191
消耗品費	24,677	335			25,012
修繕費	12,306	404			12,709
保守費	8,454	0			8,454
印刷製本費	8,773	7,880			16,653
研究調査費	1,155	104			1,260
光熱水料	6,223	115			6,338
リース料	3,164	376			3,540
賃借料	81,259	3,568			84,827
不動産管理費	5,134	225			5,360
保険料	98	0			98
租税公課	1	0			1
委託費	72,416	730			73,146
業務推進費	14,461	27			14,488
諸謝金	421	0			421
雑費	6,175	63			6,238

科 目	収益事業 健診事業	収益事業 健康支援事業	法人会計	内部取引 消去	合 計
管 理 費			57,208		57,208
役 員 報 酬			310		310
給 料 手 当			33,351		33,351
法 定 福 利 費			4,613		4,613
退 職 給 付 費			814		814
福 利 厚 生 費			1,531		1,531
旅 費 交 通 費			670		670
減 価 償 却 費			965		965
消 耗 品 費			32		32
保 守 費			1,479		1,479
印 刷 製 本 費			243		243
研 究 調 査 費			18		18
リ ー ス 料			708		708
保 險 料			385		385
支 払 助 成 金			5,500		5,500
諸 謝 金			1,188		1,188
租 税 公 課			2,388		2,388
委 託 費			2,504		2,504
業 務 推 進 費			268		268
雑 費			243		243
経 常 費 用 計	661,005	88,749	57,208	0	806,961
当 期 経 常 増 減 額	56,995	7,351	- 57,208	0	7,139
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	56,995	7,351	- 57,208	0	7,139
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高					218,091
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高					225,230
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0	225,230

役員・評議員名簿

役 員 名 簿

理 事 長 中 熊 一 仁

常務理事 熊 井 毅

理 事 内 田 賢

 岡 野 学

監 事 白 井 道 昭 明治安田生命保険相互会社関連事業部長

評 議 員 名 簿

阪 本 要 一 東京慈恵会医科大学 客員教授

下 門 顯太郎 東京医科歯科大学 名誉教授

上 坊 敏 子 独立行政法人 地域医療機能推進機構相模野病院
婦人科診療顧問
北里大学医学部 客員教授

室 山 尚 子 明治安田生命東京診療所所長

